

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 キーウェアソリューションズ株式会社  
 コード番号 3799 URL <http://www.keyware.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員専務  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 中島 哲二  
 (氏名) 矢光 重敏

TEL 03-5369-1118

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	3,362	△26.4	△803	—	△817	—	△778	—
21年3月期第1四半期	4,566	—	△354	—	△438	—	△299	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△85.45	—
21年3月期第1四半期	△32.84	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	9,941	6,754	67.9	741.41
21年3月期	11,075	7,612	68.7	835.63

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 6,754百万円 21年3月期 7,612百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	5.00	—	10.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	10,878	△1.5	215	—	220	—	299	—	32.82
連結累計期間	22,500	△3.2	450	—	487	—	520	—	57.08

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

〔注〕詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 9,110,000株 21年3月期 9,110,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 30株 21年3月期 30株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 9,109,970株 21年3月期第1四半期 9,109,970株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の日本経済は、緊急経済対策等の実施効果は一部に見られたものの、雇用、消費関連指標等が改善するまでにはいたっていない状況にあります。これに加え、昨年来の世界的な景気後退の影響を受けた主要企業は、業績の不透明感を背景に、継続した投資抑制を行っております。

情報サービス産業におきましては、売上高については、2月以降3ヶ月連続で対前年同月比での減少が続いておりましたが、5月については、前年同月比0.5%と4ヶ月ぶりの増加となっております。また、売上高全体の半分弱を占める「受注ソフトウェア」は、金融業向け、製造業向け等の減少が2ヶ月続きましたが、5月については、通信業向け等の増加により同比0.6%の増加となりました。

こうした環境の中、当社は本年4月に、3つの事業本部にそれぞれ設置していた営業、技術部門を営業本部および技術本部に改編いたしました。この改編に伴い、技術部門におきましては、一元化をはかることにより多分野にわたる業種・業務ノウハウや開発技術を組み合わせた迅速な対応が可能となり、営業部門につきましても、今以上に、顧客の声に即応しつつ顧客の問題点を解決する提案を行える体制を構築いたしました。さらに、それぞれの事業本部に設置されていた事業管理部門を統合しプロジェクト採算管理の効率化をはかるとともに、グループ内製の推進、セキュリティ、協力会社管理の強化を進めております。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の受注高は3,459百万円（前年同四半期比39.1%減）、売上高は3,362百万円（同26.4%減）となり、803百万円の営業損失計上やむなきにいたりました。

主な事業区分別の実績は次のとおりであります。

## a. システム開発事業

システム開発事業につきましては、受注高は1,942百万円（前年同四半期比38.3%減）、売上高は1,912百万円（同22.2%減）となりました。

売上高動向につきましては、昨年度下期以降自治体や企業のIT投資抑制により、大型案件が減少したことに加え、一部開発案件の延期、契約締結までの期間の長期化等が続いており、各分野において継続案件、新規案件ともに軟調に推移いたしました。安定分野であるシステム開発事業は、社会インフラ構築事業等の官公庁向けの比重が大きいため、第2四半期ならびに第4四半期に売上が集中する傾向にあります。

損益面では、昨年度複数発生した不採算プロジェクトの影響が払拭できず労務費、外注費等の増加、稼働率の低下が発生したことに加え、大型案件の減少や既存顧客からの更なる原価低減要求等により収益が悪化いたしました。引き続きプロジェクト管理強化、開発の効率化、採算管理の徹底を行っております。

## b. 総合サービス事業

総合サービス事業につきましては、受注高は1,516百万円（前年同四半期比40.1%減）、売上高は1,449百万円（同31.2%減）となりました。

売上高につきましては、ERP事業、HP UX関連のインフラ構築事業、ならびにkeyCOMPASS事業のうちシステム・インテグレーション業務が軟調でありました。

損益面では、ERP事業やインフラ構築事業における既存顧客からの原価低減要求、不採算プロジェクトの残処理等が発生したため収益が低下いたしました。今後につきましては、事業シフトを勘案しつつ、多機能開発技術員の養成、既存技術員の更なる技術向上を推進してまいります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1)資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

①流動資産

流動資産残高は、5,408百万円（前連結会計年度末比977百万円減、15.3%減）となりました。主な増減要因は、仕掛品の増加ならびに受取手形及び売掛金の減少であります。

②固定資産

固定資産残高は、4,533百万円（同比155百万円減、3.3%減）となりました。主な減少要因は、のれんおよび投資有価証券の減少であります。

③流動負債

流動負債残高は、2,117百万円（同比130百万円減、5.8%減）となりました。主な増減要因は、受注損失引当金の増加、ならびに支払手形及び買掛金および1年内返済予定の長期借入金の減少であります。

④固定負債

固定負債残高は、1,069百万円（同比145百万円減、11.9%減）となりました。主な減少要因は、長期借入金の減少であります。

⑤純資産

純資産残高は、6,754百万円（同比858百万円減、11.3%減）となりました。主な減少要因は、利益剰余金の減少であります。

(2)キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、1,349百万円（前連結会計年度末比313百万円減、18.8%減）となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金は、税金等調整前四半期純損失（788百万円）に加え、たな卸資産の増加（641百万円）、仕入債務の減少（314百万円）などがあつたものの、売上債権の減少（1,733百万円）などにより38百万円増加いたしました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金は、無形固定資産の取得による支出（62百万円）があつたものの、定期預金の払戻による収入（100百万円）などにより31百万円増加いたしました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金は、長期借入金の返済による支出（295百万円）、配当金の支払（88百万円）により383百万円減少いたしました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点において平成21年5月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

・ 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

・ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度にかかる減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

・ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しましては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められる場合においては、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表作成に特有な会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・ 受注制作のソフトウェア開発に係る収益および費用の計上基準の変更

受注制作のソフトウェア開発に係る収益および費用の計上基準については、従来、完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)および「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を当第1四半期連結会計期間から適用し、当第1四半期連結会計期間に着手したソフトウェア開発契約から、当第1四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる契約については進行基準(進捗率の見積りは原価比例法)をその他の契約については完成基準を適用しております。

これにより、売上高は22,119千円増加し、営業損失、経常損失および税金等調整前四半期純損失はそれぞれ5,078千円減少しております。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

キーウェアソリューションズ(株) (3799) 平成22年3月期 第1四半期決算短信

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,349,976	1,662,988
受取手形及び売掛金	2,142,692	3,876,352
商品及び製品	21,275	44,415
仕掛品	1,271,960	607,777
その他	623,836	224,647
貸倒引当金	△1,109	△29,984
流動資産合計	5,408,630	6,386,197
固定資産		
有形固定資産	241,774	249,559
無形固定資産		
のれん	1,041,364	1,055,153
その他	328,761	311,490
無形固定資産合計	1,370,126	1,366,644
投資その他の資産		
投資有価証券	2,720,668	2,772,976
その他	215,356	314,641
貸倒引当金	△14,901	△14,901
投資その他の資産合計	2,921,122	3,072,716
固定資産合計	4,533,023	4,688,919
資産合計	9,941,654	11,075,117
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	624,884	939,711
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	400,000	545,000
未払法人税等	12,287	66,369
受注損失引当金	54,374	—
その他	926,393	596,941
流動負債合計	2,117,940	2,248,022
固定負債		
長期借入金	1,050,000	1,200,000
役員退職慰労引当金	11,710	11,710
その他	7,783	2,825
固定負債合計	1,069,493	1,214,535
負債合計	3,187,433	3,462,558
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,737,237	1,737,237
資本剰余金	507,237	507,237
利益剰余金	4,506,578	5,376,131
自己株式	△16	△16
株主資本合計	6,751,036	7,620,589
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,184	△8,030
評価・換算差額等合計	3,184	△8,030
純資産合計	6,754,221	7,612,559
負債純資産合計	9,941,654	11,075,117

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	4,566,400	3,362,465
売上原価	3,868,461	3,304,998
売上総利益	697,938	57,467
販売費及び一般管理費	1,052,697	860,963
営業損失(△)	△354,758	△803,496
営業外収益		
受取利息	3,761	194
受取配当金	30	1,197
その他	3,215	2,596
営業外収益合計	7,007	3,988
営業外費用		
支払利息	13,501	7,023
支払手数料	—	6,589
持分法による投資損失	69,195	888
その他	8,141	3,381
営業外費用合計	90,838	17,882
経常損失(△)	△438,589	△817,390
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	29,055
受取保険金	10,000	—
特別利益合計	10,000	29,055
特別損失		
投資有価証券売却損	17,794	—
投資有価証券評価損	13,665	—
その他	35,432	—
特別損失合計	66,892	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△495,481	△788,335
法人税等	△204,399	△9,882
少数株主利益	8,067	—
四半期純損失(△)	△299,150	△778,452

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】エスソリューションズ(株) (3799) 平成22年3月期 第1四半期決算短信  
(単位: 千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△495,481	△788,335
減価償却費	32,757	35,609
のれん償却額	10,181	13,789
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	54,374
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,015	△28,874
受取利息及び受取配当金	△3,791	△1,391
支払利息	13,501	7,023
持分法による投資損益(△は益)	69,195	888
投資有価証券評価損益(△は益)	13,665	—
固定資産除却損	12,286	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,928,138	1,733,659
たな卸資産の増減額(△は増加)	△927,915	△641,041
その他の資産の増減額(△は増加)	△431,787	△370,439
仕入債務の増減額(△は減少)	△323,941	△314,827
未払消費税等の増減額(△は減少)	△90,842	△12,643
その他の負債の増減額(△は減少)	364,688	359,800
その他	15,471	575
小計	1,187,139	48,167
利息及び配当金の受取額	30,722	68,687
利息の支払額	△16,162	△13,523
法人税等の支払額	△328,792	△64,552
営業活動によるキャッシュ・フロー	872,906	38,779
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△103,000	—
定期預金の払戻による収入	—	100,000
有形固定資産の取得による支出	△11,774	△3,935
無形固定資産の取得による支出	△33,280	△62,919
投資有価証券の売却による収入	80,833	781
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△309,608	—
子会社株式の取得による支出	—	△600
貸付けによる支出	—	△300
貸付金の回収による収入	1,444	963
その他	△13,708	△2,456
投資活動によるキャッシュ・フロー	△389,092	31,533
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	—
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△210,539	△295,000
配当金の支払額	△149,411	△88,325
財務活動によるキャッシュ・フロー	40,049	△383,325
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	523,862	△313,012
現金及び現金同等物の期首残高	1,009,702	1,662,988
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,533,565	1,349,976

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

該当事項はありません。

6. その他の情報

受注及び販売の状況

(1) 受注実績

受注実績を事業区分別に示すと、次のとおりであります。

事業区分	前第1四半期連結累計期間 自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日		当第1四半期連結累計期間 自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日		増減			
	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高		受注残高	
					金額(千円)	前年同 四半期 比(%)	金額(千円)	前年同 四半期 比(%)
システム開発 事業	3,149,697	3,720,420	1,942,350	2,598,055	△1,207,346	△38.3	△1,122,364	△30.2
総合サービス 事業	2,533,174	3,708,565	1,516,800	3,021,129	△1,016,373	△40.1	△687,435	△18.5
合計	5,682,871	7,428,985	3,459,151	5,619,185	△2,223,720	△39.1	△1,809,800	△24.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

販売実績を事業区分別に示すと、次のとおりであります。

事業区分	前第1四半期連結累計期間 自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日		当第1四半期連結累計期間 自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日		増減額(千円)	前年同四半期 比(%)
	販売高(千円)	構成比(%)	販売高(千円)	構成比(%)		
システム開発 事業	2,458,414	53.8	1,912,951	56.9	△545,462	△22.2
総合サービス 事業	2,107,986	46.2	1,449,513	43.1	△658,472	△31.2
合計	4,566,400	100.0	3,362,465	100.0	△1,203,935	△26.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。